

## 2020年度 安全衛生・物流品質・環境保全の重点取組み

### 1) 安全品質最優先によるリスク管理の強化

- ① 安全意識の啓蒙
  - ・作業前KY、指差呼称の日々実践
  - ・KYシート、KYビデオ、ドラレコ等の活用によるKYT教育
  - ・安全宣言の日（7月29日）における安全の誓い
- ② 事故災害再発防止の強化
  - ・事故災害再発防止の全社指針の遵守
  - ・過去の事故災害対策実施状況の継続的検証
  - ・事故災害発生時の全社的歯止め(再発防止)の強化
  - ・特別指導部門指定制度による本質安全職場追求
- ③ 事故災害未然防止の強化
  - ・4M変更時のリスクアセスメント強化
  - ・作業前の一呼吸と指差呼称による一人KY
  - ・非定常作業時のKYミーティングの実施
  - ・部署単位での安全取組強化
  - ・ナイスKY賞の積極的提出
  - ・声出し確認の徹底
- ④ 実効性のある内部監査でリスクの把握を強化
  - ・本部と部門の計画的監査の実施
  - ・法適合性確認を基本に置いた抜けのない監査
  - ・ポイントを絞って個々の安全品質活動の有効性を確認
- ⑤ 協力会社の管理・指導の強化
  - ・ユーザー台帳の整備と窓口指導の強化
  - ・協力会社からのナイスKY賞提出促進
  - ・協力会社管理要領、評価区分策定によるレベルに応じた指導

### 2) 決められたルールは例外なく遵守するコンプライアンス意識の啓蒙

- ① 法令、社則等遵守状況の定期的把握
  - ・コンプライアンス委員会、内部監査、パトロール等で確認
  - ・職場会によるコンプライアンス項目教育の実施
- ② 法令、社則等改訂時の迅速な周知と確実な対応
  - ・ゼロタでの情報発信と教育の場での周知

### 3) 優良事業所としてのマネジメントレベルの向上

- ① 運輸安全マネジメントの効果的活用による安全・安心物流の提供
  - ・年間活動計画の完遂
- ② 「安全性優良事業所」「グリーン経営」による輸送の安全・環境の向上
  - ・安全性優良事業所表彰受賞による評価向上
  - ・省燃費運転の効果を啓蒙し、グリーン経営取組の再認識
- ③ ISO9001:「2015規格」運用による物流品質と生産性向上

- ・ I S O 業務手順の見直しと実践による業務の合理化
- ④ 緊急時対応能力の向上
  - ・ 焦点を絞った大規模災害対策の立案と検証（広域緊急訓練実施と B C P 検討）
- ⑤ 住化物流パートナーシップ協議会および荷主各社との諸活動の確実な実践
  - ・ 住化物流品質事故 D ランク以上 ゼロ、E ランク対前年 5 0 % 削減
  - ・ 主要荷主の情報共有化と事故対策の水平展開で事故再発防止強化
- ⑥ 一新会会員の競争力強化のための活動展開
  - ・ 事務局および会員各社からの情報共有による相互研鑽
  - ・ 一新会物流分科会活動の活性化

#### 4) 教育・訓練の充実で安全に強い人づくり

- ① 年間教育・訓練計画の充実と完遂
- ② 個人力量把握のための個人教育記録台帳の整備
- ③ 計画的資格取得と社内外研修の実施
- ④ 目的とシナリオを明確にした実践的緊急訓練の実施

#### 5) 一人ひとりが安全と業績に貢献する小集団活動の展開

- ① 全員参加のサークル活動の見直しと活性化
  - ・ 地区及び全国発表大会の開催
- ② ヒヤリハット、改善提案の個人目標の必達
  - ・ 提出促進のための職場実態に応じた工夫した取組み展開

#### 6) 物流グループ各社の安全品質向上支援

- ① 物流グループ各社同一レベルの安全品質活動展開
  - ・ 一宮運輸の各種取組みの水平展開
- ② 本部監査によるリスク管理、コンプライアンス管理の支援